



# 近畿支部会報2017年6月号

新緑の若葉が美しい頃となりました。皆様にはお元気にお過ごしでしょうか。今年は暑くなるのが早く、もう 30 度以上真夏日があります。この先が思いやられます。テレビでは「熱中症に気をつけて下さい」とよく言われます。水分を小まめに採って元気に過ごしたいものです。

先日舞鶴の方がサーバスのホームページ Contact Us を通じて入会して下さいました。いつも新しく入会される方には役員が直接お会いしてサーバスについて説明し、理解して頂いているのですが、舞鶴は遠いのでどうしようかと思いました。幸い、以前よく活躍されていて、今は休会されている会員が舞鶴にいらっしゃいます。その方にサーバスの説明等をお願いした所、「わかりました」とすぐに引き受けて下さいました。その方は画廊を経営されているので、入会希望の会員さんも既にその画廊に行かれたこともあり、スムーズな入会となりました。他の休会員の方からも年会費を送って下さったので、連絡した所、「わざわざ電話やメールをありがとうございます。お声を伺えて嬉しかったです。何のお役にも立てませんが もうしばらく会員でいさせてください」とメールを下さいました。日頃、何の連絡もしない支部会員の皆様もそれぞれの想いでサーバスに繋がって下さっている事を知り、とても心強いです。

サーバス旅行、トラベラーの受け入れ、サーバスにはいろんな活動がありますが、特に何もしないけれど「サーバスの繋がりを大切にする」という事もサーバスの大切な活動であることを改めて感じた次第です。皆様、よろしくお願ひします。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1.例会報告	宝塚市	O.M
2.トラベル報告	交野市	K.K
3.トラベラー受入れ報告	東大阪市	M.T
	共通で深刻な話題	
	愉快なイタリア人	東大阪市 M.T
	2組のトラベラー	熊取町 M.Y
	初めてのホスト体験	草津市 N.N
	フランス人の受け入れ	奈良市 K.J
	フランスよりのゲスト	交野市 S.S
4.会員交流「北から南から」	南仏 田舎のパン学校	大津市 O.Mk
5.お知らせとお願い		支部長

## 1.例会報告

宝塚市 O.M

6月3日(土曜日) 滋賀県大津市の大津市市民会館内の琵琶湖を一望できる大きな自然派レストラン「マドカフェ」で和やかな雰囲気の中で近畿支部の例会が行われました。ここは大津の会員、Sさんの紹介です。食事は前菜に始まり、てんぷら、お弁当、1人鍋、ご飯、お味噌汁…。次々に運ばれてくる料

理は、美味しいだけでなく、見た目にも美しく、今日は新入会員がいらっしやるので、食事をしながら自己紹介をしようと言っていたのに、そんな余裕がない位、食事に引き付けられました。

食事の後、1人ずつ自己紹介がありました。参加者は13名です。自己紹介の後はメインの仙台の国内会議の報告等に移りました。(以下支部長記)



## 2017年日本サーバス国内会議の報告と討論

議事録に沿ってざっと報告がありました。その中で日本サーバスの運営面について、①諸課題に対応するため、プロジェクトチームが立ち上げられた事、②本部役員選出についての内規が作られ、今後はそれに沿って本部役員が決められる事、③日本サーバスの実務性を高め、国内会議での重要案件に対する協議時間を十分に確保するために、会則に指定する協議事項(役員人事、収支決算、予算、規則の重要項目)以外の案件については、日本サーバス役員メーリングリスト(ml)で提案・意見交換をし、議決投票権を持つ役員に賛否を問う事が新設されたと報告がありました。

特に以下の点を話し合いました。

### \*日本サーバスのNPO法人化について

NPOにすれば信用が増す等利点があるが、一方、固定した事務所が必要、日本サーバスとして会計を一本化せねばならない等、実現が難しい課題がある。以上のような理由から日本サーバスのNPO法人化には賛成できないと結論しました。

### \*日本サーバス会計の一本化について

今、日本サーバスには支部会計と本部会計があります。それを本部会計に一本化してはどうかという意見が多く出たので、その事について話し合いました。

今の日本サーバスの活動は本部が決めて支部に降ろして活動するという形態ではなく、各支部が創意・工夫を凝らして活動し、本部が集約するという形態である。本部があつて、支部があるのではなく、先ず支部がある。支部が夫々活動するには活動費がいる。財政を一本化するとその様な支部活動を行うのが今より難しくなる。日本サーバスの会計一本化は今の日本サーバスの活動形態に合わないのではないか。日本サーバスの会計一本化には賛成できないと結論しました。

次に国内会議の議題に関連して、次の事を支部で決めました。

### \*国内会議旅費補助について

近畿支部は以前から国内会議の旅費補助は支部全体で6万円(本部会計より補助があつた場合はその分を差し引く)と決めています。その6万円を参加人数で割って一人当たりの補助額にしています。他支部では、役員は国内会議交通費全額補助というのが基本です。近畿支部は一人当たり非常に少ない補助金ですから、支部会計には現在前年度からの繰越金が88万円程あります。他支部では国内会議役員旅費全額補助というのが実施されている現在、近畿支部でも来年からそのようにする事に決定しました。以前から近畿支部では役員も一般会員も国内会議に参加した人には同額補助としていますので、これは今後も変わらず、一般会員が参加しても旅費は全額補助とします。但し、国内会議に参加する会員は早割チケットやディスカウントチケットを買う等、極力経費節減に努力し、正規運賃での購入は避ける事が申し合わされました。この決定通り来年度から、国内会議旅費補助を執行していきます。繰越金が40万円位になったら、再度国内会議旅費補助の基準を検討すると結論しました。

### **\* Servas On Line への移行に伴って**

今まで電子ホストリストの変更等は本部の係の方が行って下さっていましたが、Servas On Line に移行すると各人で行う事になります。又、旅行する場合も今までは電子ホストリストでホストを探していましたが、今後はシステム上でホストを探す事になります。このように Servas On Line に移行すると、今までと異なることが起こります。スムーズに移行するため、わかりやすい日本語版の解説書が8月末位に出来る予定です。これらの事がスムーズに行えるように、支部にわからない事をサポートする IT 担当役員を作ることになり、今もサーバス本部の IT 委員で活躍されている S.S さんに支部の IT 担当役員をお願いする事になりました。

### **その他話し合った事や報告等**

#### **\* 折り紙プロジェクトについて**

本部会報で述べられていた中国四国支部、九州支部共同の折り紙プロジェクトの折り紙ギフトを、他支部でもトラベラーに渡すという事について、説明文等を見た上で、近畿支部でも取り組みを考えていこうと話し合いました。

#### **\* 日本モンゴル障がい児交流会、次回取り組みの現状報告**

2018 年春に日本モンゴル交流会を日本で行うという事は既にお伝えし、私たち関係者は準備を進めています。大津の石山に元フィンランド人のための学校であった所が、今は宿舎付きの活動場所として利用できる所があります。宿舎はそこを使う事にしました。それに伴って、フィンランド学校で交流プログラムを進めるだけでなく、外での活動場所も琵琶湖、大津周辺を主にする事に変えました。海の無いモンゴルの子供たちにぜひ水辺の体験をさせてあげたいと探した所、学校の春休みではまだ寒くて水辺の活動が準備されていなく、又、日本の夏休みは暑すぎるので、行楽地は混みますが、ゴールデンウィーク、具体的には 2018 年 5 月 2 日～8 日に交流会をする事に決めました。モンゴルからは既に障がい児親子 4 組とサポーター 5 人の参加が予定されており、日本からも障がい児親子 6 人とサポーター 8 人の参加が予定されています。日本の参加予定者で、今後いろいろ詰めていき、随時報告いたします。ご協力をよろしくお願いします。

## **2. トラベル報告**

### **シチリアの旅 (2016年12月26日～2017年1月6日)**

Palermo ~ Catania ~ Palermo

交野市 K.K

2015 年の夏にサーバスで南イタリアを旅行しました。その時受けたシチリアでの温かいもてなしが忘れられず、この冬休みに再びシチリアに行くことにしました。前回はシチリア東部の Catania カターニア周辺のみだったので、今回はシチリア西部の Palermo パレルモを中心にと考えホストを探しました。私の旅行期間 12月26日～1月6日はちょうど向こうのクリスマス休暇で、ホストを見つけるのが大変難しく一時は旅行を諦めかけたのですが、一人の方が「自分はパレルモにいないからホストできないけど、サーバスの友達を紹介するよ。」とホストをお世話してくださりました。また、前回カターニアでとてもお世話になったサーバスの O に連絡をとると、「ぜひ遊びに来て！」と二つ返事を頂き、新しい出会いと懐かしい再会にワクワクしながらシチリアへと出発しました。

## 12月26日～28日 Palermo (C & V宅)

パレルモ1軒目のホストは、教師夫婦のCとVです。私の飛行機は昼前にパレルモに着いたのですが、自分たちは夕方にならないと休暇から帰って来ないということで、サーバス仲間のM.Gを紹介してくださいました。Mの家はパレルモの中心にあり、家のベランダからは旧市街の美しい街並みが一望できます。Mの両親は英語を話せないのですがとてもフレンドリーな人柄で、身振り手振りやグーグル翻訳を駆使しながら楽しい昼食時間を過ごすことができました。その後Mの案内で旧市街を散歩しながら、パレルモの歴史や名所、美味しいものなどを教えてもらいました。この日は教会でクリスマスコンサートがあり友達が指揮をするというので、私もご一緒させてもらいました。歴史ある荘厳な大教会の中でオーケストラの演奏を聞いていると、(自分は今、本当にイタリアにいるんだなあ。)という実感がひしひしと湧いてきました。



晩になってパレルモに帰ってきたCと合流し家に向かいました。CとVの一人息子Maは15歳の男の子で演劇と音楽活動に夢中です。家族の中で一番英語が上手なMaはもてなし上手で、日本の同世代の男の子と比べると大人だなあという印象を受けました。サーバスで旅行していると、ティーンエイジャーがいる家族のお世話になることも多々あるのですが、いつも感じるのは日本の子どもたちよりもはるかにコミュニケーション力があるということです。食

事時は必ず家族みんなで会話を楽しみ、その時ゲストである私も参加できるように、親は必ずと言っていいほど「Kにも何かきいてごらん」とか、「Kがわかるように英語で話さない」と子どもにしつけています。(こうやって育てられているから、世代や文化背景が違う人ともちゃんと会話ができる子が育つんだなあ)と今回も感心させられました。家からPalermo市街地までは歩ける距離だったので、滞在中はおすすめのPalermo観光を楽しみました。シチリアはイタリアの中でも古い慣習が残っているようで、お昼ご飯は家族みんなが家に帰って来て2時ごろからゆっくり時間をかけて食べるのが普通ようです。Vも当然のように「お昼ご飯は家に帰って来て食べるよね？」ときくので、結局朝昼晩ずっとマンマの手作りイタリアンを満喫することとなりました。クリスマス休暇は実家のある田舎で過ごしていたらしく、出てくる料理は自家製オリーブオイルや自家製野菜を使ったもので、どれも本当においしかったです。またCたちは地域の人や友達と一緒に団体を立ち上げるところで、28日にはその立ち上げパーティーがありました。親戚や友達などたくさんの方が集まり、歴史、社会、政治、文化、いろいろな視点から見たパレルモの現状について話が盛り上がっていました。その晩は次のホストへの移動日だったのですが、バスで行くと言う私に「車で送って行くわ。」と申し出てくださる方がいて、(初めて会ったばかりというのにこんなに親切にしてくださって、シチリアの人は本当に温かいなあ)と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

## 12月28日～12月30日 Palermo (F宅)

Palermo2軒目のホストは、FとNです。トイレ・バスルーム付きのホテルのようにきれいなお部屋で、とてもおしゃれなお



家でした。パレルモ郊外の田舎に別荘があり週末は必ずそこで過ごすという二人は、手作りのワインやオリーブ、自家製の野菜や卵などで温かくもてなしてくれました。「せっかくシチリアに来たんだから、シチリア料理を食べなくちゃね。」と F が腕を振るって作ってくださったウサギ料理は、思わずおかわりをするほどおいしかったです。

## 12月30日～1月1日 Catania (O宅)



大晦日とお正月は、大好きな O に会いに Catania カターニアに行きました。大晦日はクリスマスと同じくらい大事な祝日で、家族や友達など大切な人とにぎやかに過ごすのだそうです。着いた日のお昼は O の娘の C と A も一緒に、明日（大晦日）のパーティーの準備について熱心に話していました。「イタリア語ばかりでごめんね。でもこれ（明日のメニュー）は真剣に話さないといけないことだから。」と真面目な顔で言うので、「やっぱりイタリア人は食にこだ

わるんですね。」と返すと、「特にシチリア人はすごいよ。食べることについてはみんな何よりも真剣だから。」と誇らしげに教えてくれました。

次の日は大晦日で、O たちはみんなパーティーの準備で大忙しです。私は、前回の旅でもエトナ山を案内してくれたサーバス仲間 Mi のご厚意で、またエトナ山に連れて行ってもらうことになりました。夏のエトナ山もきれいでしたが雪に覆われた冬のエトナ山も大変美しく感動的でした。家に帰るとパーティーの準備はまだ続いていま



した。C がパスタを手作りするというので、ぜひにとお願いして私も教えてもら



うことにしました。寝かせておいた生地を細く伸ばして短く切り、指を使って形を耳たぶのような形に整えます。初めてのパスタ作りでしたが、10人分のパスタを準備するうちにすっかり慣れて楽しくなり、「これであなたも一人前のシチリア人ね！」と褒めてもらうほどになりました。O の息子 G 家族や

孫たちも Roma から到着し、手作りイタリア料理をおなかいっぱい食べ、おいしいワインやシャンパンを飲み、本当に楽しいパーティーとなりました。「日本のこと教えて！」という声にこたえて、折り紙や習字を披露したり、日本から持って来た写真を見せながら日本文化を紹介したりもしました。びっくりしたのは、イタリアにも「あやとり」があったことです。ふとしたことからあやとりが始まり、その場にいたみんなで「二人あやとり」をすることができました。てっきり日本のものと思っていた昔遊びを、まさかシチリアで楽しむことが出来るなんて本当にうれしい驚きでした。こんな家族的な場に日本人の私も入れてもらえて、サーバスの温かいホスピタリティーにどっぷり浸った年越しとなりました。

## 1月1日～1月6日 Palermo (Ma V宅)

Palermo 3軒目のホスト M.V は、はじめから6日間のホストを申し出てくれました。「いつもはイタリア語を話せる人しかホストしないの。英語はほとんど話せないのよ。」という M ですが、滞在中コミュニケーションに困ることがないほど英語を上手に話し、「自分でもびっくり！」とっていました。この M もパスタは全部手作り！というイタリアのマンマで、日本では見たことも無いような珍しい形や大きさの生パスタを食べさせてくれました。普段はベジタリアンらしいのですが、「Kがいる間は例外ね。」と、日本から来た私のために朝昼晩いつも美味しいものを作ってくれました。近くに住むサーバス仲間の L も誘って海岸にドライブしたり、一緒に街歩きをしたり、料理を作ったり、本当にリラックスできる6日間でした。



また、パレルモでホスト探しをしていた時に「家族の事情で家に泊めることはできないけど、デイホストなら。」と言ってくれた C にもたくさんお世話になりました。「シチリアならではの料理が食べたい。」という私のリクエストにこたえて、シチリア産の食材だけを使った、安くて美味しいイタリア料理のお店に連れて行ってくれました。また、C が一番好きなパレルモ周辺の名所にもあちこちドライブで連れて行ってくれたり、お家でのディナー

に招待してくれたり、従兄弟がチェロを演奏しているというオーケストラのコンサートにも誘ってくれたり、これ以上はないというほどのもてなしで、普通の旅では絶対に経験できないパレルモを満喫することができました。12月に働いていたイギリスから帰ってきたばかりで、しかも「2月から2年ほど南米に行くの。」と言う若い C は、引越しの片付けや旅の準備で忙しいにも関わらず、私のためにたくさんの時間をさいてくれて、人情豊かなシチリアの代表のようなサーバス会員でした。



今回のシチリア旅行（1泊12日）では4軒のホストにお世話になりました。シチリアのサーバスは会員同士のつながりが強く、ホストの他にもたくさんのサーバスメンバーとの出会いがあり、なんだか得をしたような気分です。他のホストを紹介してくれたり、旅のアドバイスをくれたり、忙しいホストに代わってもてなしてくれたり、滞在中私が困ることがないよう何から何までお世話してくれて感謝の言葉もありません。またシチリア人は親切で人懐こい人が多く、空港でもバス停でも一人である私に声をかけ、「私が連れて行ってあげるから大丈夫！」と親切に車で目的地まで送ってくれることがたび



たびありました。またシチリアは食が豊かで、肉や魚、野菜などの地元の新鮮な食材を生かした料理を、時間をかけて楽しんでいます。特に私がお世話になったサーバスの方たちは手作りや地元の食材にこだわる人が多く、いっそうシチリアが好きになりました。華やかさや便利さという点では、シチリアは他の観光地に劣るかもしれませんが、人の温かさや素朴さではどこにも負けない素敵な町でした。こんな旅を経験すると、サーバスは本当に素晴らしい組織だとつくづく思います。

初めて出会う異国人の私にこれほどの善意と信頼を示してくれた、素晴らしきサーバス会員の皆様に

この場をかりて感謝を述べるとともに、何にもかえがたい貴重な経験の機会を与えてくれるサーバスの組織とその運営にかかわる方々にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。トラベラー・ホスト会員としてこれからもサーバス活動に関わっていきたいと思うとともに、もっとたくさんの方にこの経験を味わってもらい世界平和の草の根が広がることを願ってやみません。

### 3. トラベラー受け入れ報告

#### 共通で深刻な話題

東大阪市 M.T

H さんからのお問い合わせで我が家に5月19日、20日と初めてブルガリアからのお客さんが宿泊。ロシア語なまりの英語で少し分かりにくい時もありましたが、楽しく二日間を過ごしました。ブルガリアにも原子力発電所が一基稼働中。福島原子力発電所事故が話題になり、日本では原発から出るプルトニウムの管理はどのようにしているのか等聞かれましたが、僕は確かな事は知りませんので、お答えは出来ませんでした。フランスへそれを加工して貰うために送り、そして日本へ再び持って来るのですが、受け入れる所がいつも問題になっている事などをお話ししました。



#### 愉快的イタリア人

東大阪市 M.T



イタリア、Florence から Ma, J, Mi, Mau、家族と友人です。彼らはデイホストを希望しまして5月3日、4日と大阪を案内しました。J は仕事で日本へ数十回来ています。住宅メーカー、商社、一部上場企業との仕事です。接待はいつも高級料亭へ。今回はプライベートの旅行ですので、庶民の皆さんが行くようなレストランを希望。お好み焼き屋さん、新世界の串カツ屋さんに行きました。Ma さんは買い物をしすぎて新しいスーツケースを買いました。5日は関空から帰国です。問題が一つ、スーツケースが増えてしまいどうしようと家族会議が始まりました。僕が娘のワンボックスカーを借りて関空へ彼らを送りました。皆さん大喜びでした。

#### 二組のトラベラー

熊取町 M.Y

2017年3月23日

氏名 OH E S & C in C 韓国

2013年10月11日から10月18日までの九州支部主催の韓国ツアーに参加させていただいたときにお世話になった OH E S さんが大阪に来られましたので大阪市内を案内させていただきました。ちょうど大阪場所がありましたので観戦を楽しみました。相撲をみるのは初めてらしく大変楽しんでいただいたと思います。昼食は通天閣近くの串カツを夕食はちゃんこ鍋を賞味させていただきました。





2017年4月28日から30日 氏名 W T イギリス 女性

ロンドンには4名のコーディネーターがおられますが東部を担当しておられます。ホームレスのサポートに熱心に活動しておられます。旅行、ガーデニング、音楽を趣味としておられます。2人とも作家の D H ローレンスが好きで会話が弾みました。

### 初めてのホスト体験

草津市 N.N

この度初めてサーバスのホストを体験いたしました。これまで、JICA の研修生や高校の交換留学生などの受け入れをしてきましたが、一般の方のしかも K さんは70歳。正直なところ大丈夫かなという不安もありました。が、やっぱり好奇心が勝ち「案ずるより産むがやすし」の精神で、家族の協力のもと、させていただきました。

さて、初日、駅での待ち合わせは夫と二人でいきました。思ったよりずっと若々しく、日本に興味いっぱい。夕ご飯など出会ってから希望を聞けばいいかと安易に考え、何パターンかを考えていたのですが、話してみてもびっくり。K さんは魚アレルギーでした。準備していたのはすべて魚がベースだったので、急遽だしは昆布に、メインは肉や大豆製品にと変更しました。天ぷらに、餃子、カレーうどんなどなど3日間 K さんの様子や話の内容からメニューを決めて、普通の日本の生活をしてもらいました。2日目の日曜日は一緒に京都や信楽を楽しみ、3日目は仕事や学校があったので一人で京都の町を探索してもらい、夕方待ち合わせをしました。短い間でしたが、家族の一員のように楽しい時間を過ごすことができました。



驚いたことに、3日間で私たち夫婦の英会話力がアップしたのです。これは思わぬ副産物で、お互いに喜び合いました。ただ、その後使うことがなかったので、あっという間に元に戻ってしまいました。(笑)

これからもいろいろな方との出会いを楽しみにしています。貴重な体験をありがとうございました。

### フランス人の受け入れ

奈良市 K.J

5月25~27日、70代のフランス人カップル A と L さんを3日間受け入れました。彼らはトゥールの住んでいるのですが、アンボワーズに住んでいるフランス人のサーバスの私の友人のご近所の方でした。私がアンボワーズに行った時、庭でお会いしたことがあるのです。A さんは精神科医で76才。L は元イギリス株のトレーダーをされていました。二人はお互いに伴侶をなくし9か月前から一緒に住み始めた新婚ほやほやのカップルでした。一日目彼らは日を間違えて前日に到着。いくら待っても私が来ないのでホテルをとられたようです。電話番号を言わなかったのが悪かったですね。次の日やっと近鉄奈良でお会いしましたが、この日も JR と近鉄を間違えて JR 奈良からタクシーで駆けつけられたようです。さてやっと会えて昼食。彼らは刺身定食と何と柳川鍋を注文。まだ慣れない手つきでお箸を扱っていらっやいました。日本料理に興味があるそうで、「おいしい、おいしい」の連発。これはお世辞でしょうか？ さて、その後彼らには東大寺に行ってもらい、私はカフェで休憩。この日は夜に EU 協会主催のワイン会があって、彼らに出席してもらいました。テーマはギリシヤワインとルーマニアワイン。前に協会から説明書を貰っていたので、彼らに翻訳して説明しました。

ワインは計 9 本。来た人は 15 人ほど。ほとんどの人が英語かフランス語をしゃべるので、彼らも驚いた様子でした。さて 2 日目は 3 人で春日大社に行きました。彼らは大変感動されたようです。万燈籠の日ではなかったのがとても残念そうでした。その後フランス人が経営しているカフェに行ってカレーライスとオーナーの手作りのチーズケーキを食べ、私達 3 人はオーナーと一緒におしゃべりしました。日本でフランス人に会えて嬉しかったのでしょうか？ その夜は御好み焼きを初体験。次の日、本当は彼らは東京に行くはずだったのですが、ホテルがとれず、もう一泊私の所で泊まれることになりました。次の日、彼らは 2 人で法隆寺まで足を伸ばされました。普通、旅行者は法隆寺まで行くことはめったにないのですが、これは日本最古の木造建築。飛鳥時代を知るためにはもっと訪れて欲しいものです。その夜は主人も東京から帰って来たので、ワインを飲んで乾杯 🍷🍷🍷。日本へ来て電車の正確な事と、トイレのしくみにびっくりされたそうです。それは外国人がああのトイレを見たらびっくりしますよね。なにしろ全自動ですから。4 人で話をするうちに夜も更けてきました。次の日、彼らは東京に行くと言うので、西大寺まで車で送って京都方面に行かれました。「きっといつかツールに来てね」と熱いビズーを交わして名残惜しく去っていかれました。さてまたフランスにいかなきや。

### 3 月 28.29 日フランスよりのゲストでした。 交野市 S.S

母親 M69 歳と娘 E29 歳の二人です。二人はバックパッカースタイルで私の家の近くの駅まで来られました。母親はフランスに住んで娘はニューカレドニアで看護婦として働いています。どうしてそんなに離れたところで住んでいるの？ と聞くとフランス内地より給料がいいのだということでした。



1 日目はサーバスメンバーの T さんが来てくれて、2 日目は近くに住む従妹夫婦が来てくれました。娘がよく気が付き手伝ってくれました。母親に「あなたはいい娘を持っているね」というと「そうだ。」と書いていました。日本の親子と反対のようでした。

来年はニューカレドニアにも行ってみたいなと思っていますが？

いつも思うことですが、受ける前は日程の都合もあり、(いろいろなところに顔を出しているもので・・) しんどいな？と思いますが、いざ会って話をすると受け入れてよかったなと思います。

## 4. 会員交流 「北から南から」

### 「南仏、田舎のパン学校」

大津市 O.Mk

2017 年 1 月から約 5 ヶ月間、フランスのアルプ=ド=オート=プロヴァンス地方にある、EIDB というオーガニック専門のパン学校へ通いました。そのパン学校は、なんとバスも鉄道もない山の中。野生のうさぎや放牧された羊や牛たちがいる、まるで映画のワンシーンのようなどかな所でした。開校以来私は初めての日本人で、私以外は全員フランス人。以前からパンに関わる仕事をし



ていたので、フランス語で劣る分、経験で乗り越えることが出来ました。毎日毎日、フランスパン (Baguette)を始め、クロワッサンやカンパーニュなどを山盛り焼いては、味見を繰り返し、ビジネスプランの作成(経営学の勉強)もしました。ビジネスプランは、近所のフランス人や大家さんなどに協力を得て、完成させました。最後の修了試験は、持ち前の明るさで自分のパンをPRし、無事フランスでお店を開くことの出来るパン職人国家資格をゲットしました。

この学校通った事によって、かけがえのない友を得る事ができ、この経験は私にとって人生の宝物になりました。

## 5.お知らせとお願い

支部長

\*次の例会を10月14日(土)にお昼を挟んで奈良で行います。詳しくは追って連絡しますので、よろしくご予定下さい。

\*私たちは2016年版の日本の印刷のホストリスを持っていますが、今、トラベラーが見るのは電子ホストリスです。電子ホストリスは個人情報の漏えいを防ぐため、印刷のホストリス程細かい情報は載せていません。来訪トラベラーには必要に応じて住所等をお伝え頂きますようによろしくお願い致します。

\*電子HLからServas On Line (SOL)への移行が射程に入ってきました。SOLがスムーズに行えるように、わからない事をサポートする支部のIT担当役員をS.Sさんをお願いしました。又、支部でも必要に応じて例会で取り上げる予定です。

\*サーバスのリーフレットを先日お送りしました。どうぞお知り合いの方にサーバスをお勧め下さい。足らなくなればいつでも支部長までお申し出下さい。すぐに追加をお送りします。

\*サーバスお楽しみ例会がまだ決まっていません。どこか適当な所に心当たりのある方は支部長までお知らせ下さい。

\*2017年度サーバス年会費(一般3000円学生2000円休会者B1500円)をまだ送金されていない方は次の口座へ宜しくお願ひします。

口座番号00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部

以上